

平成 27 年度萬鉄五郎記念美術館運営委員会会議録

日時：平成 28 年 3 月 22 日(火)15：00～16：28

場所：萬鉄五郎記念美術館付属八丁土蔵 2 階

1 開 会

- (1) 15 時 00 分、平野副館長が委員 9 名中 7 名の出席により会議が成立する旨を告げ開会。
- (2) この会議は、花巻市審議会等の会議の公開に関する指針により公開するものであり、会議結果についても公表することとなっているので、会議録を調製し、委員各位の確認終了後、公表手続きを行うことを説明。

2 挨拶

【審議会会長 平野広】

- ・当審議会会長職務代理の五十嵐彰さんは、昨年 8 月の発症から 11 月までの闘病の末逝去された。最後のお別れに参列したが、五十嵐さんが現役で教鞭をとっていた黒沢尻北高等学校の教室からも見えるセレモニーホールが会場だった。
- ・自分は、昭和 59 年の美術館の開館から携わりいろいろ苦勞もしてきたが、建設当初は建てるのに精いっぱいであった。
- ・その後、事務室の拡張などがなされたが、開館から 32 年が経過し、収蔵作品や資料が膨大になってきており、改修では追いつかない状況となった。
- ・萬鉄五郎祭、街かど美術館、アートクラフトフェアにも携わってきた。30 年前は、アートが何になる…という声もあったが、今では社会資本として認識されてきている。
- ・光太郎記念館、賢治記念館はリニューアルされたが、萬美術館も・・・と期待する。

【市長代理 市川清志生涯学習交流課長】

- ・年度末の多忙な中ご参集いただき感謝。日ごろからこの萬美術館をはじめとして様々な芸術文化活動に協力をいただき感謝申し上げます。
- ・花巻市としても文化芸術に関して力を入れており、評価をいただいている。今後も全体としてレベルアップを図っていきたいと考えている。
- ・施設的には宮沢賢治記念館は、リニューアルし、高村光太郎記念館は、民間団体から市が引き

継いでリニューアルされた。今後、萬美術館や石鳥谷の酒蔵資料館も検討しなければならない。

- ・運営委員各位からもいろいろ意見をお聞きしたいので、一層の協力をお願いしたい。

【中村光紀館長】

- ・このたび美術館連絡協議会の奨励賞をいただいた。全国美術館で開催した企画展覧会の中から優れたものを顕彰するもので、今回、「棟方志功 萬鉄五郎に首ったけ展」が選ばれたもの。
- ・棟方志功が萬を高く評価し、その影響を受けたことはあまり知られていなかったが、そうしたことにも焦点を当てたことが良かったのではないか。
- ・先日、平成26年度にご寄附いただいた1000万円を活用して購入する絵画の審査委員会を経て、購入する絵画が決定した。
- ・平成28年度の企画展では、みつはしちかこ展や萬鉄五郎を読み解く展などを開催する。
- ・また、平成29年は萬没後90年となるが、平成29年度の企画展として、全国4美術館が共同で「大萬展」を開催する方向で検討している。

3 議事（以後は平野会長が議長として進行）

I 報告事項

【平野会長】

報告事項を議題とし、報告第1号平成27年度の美術館運営状況について、事務局の説明を求めた。

《説明》

- ・報告第1号のうち、資料2ページ第1基本方針から資料3ページ第2部門別計画1展覧会事業について平澤広主任主査が説明。
- ・資料3ページ2教育普及事業から最後まで伊藤真紀子主査が説明。

《質疑応答・意見》

【質問・杉本吉武委員】

- ・美術館の増改築の予定、計画について詳しく聞きたい。

【回答・平野副館長】

- ・現時点で確たることは言えない。
- ・現在、市では、すべての公共施設を対象として、管理運営費なども見込んだ公共施設管理計画を策定中である。
- ・この計画によってある程度全体が固まれば、次は個別の施設ごとに検討となるのかなと思う。ただ、待つだけでは遅くなってしまいますので、声を上げていく必要がある。
- ・現在、美術品台帳の見直し・整備中だが、収蔵作品の数や展示台等の数、さらに、これまでの企画展の実績など、具体的な数字を示して部内の協議に挙げたい。
- ・その後、具体的な増改築等について、市の総合計画に乗せるようにしたい。

【意見・杉本吉武委員】

- ・今の時代は、ともすれば廃止とかの議論になってしまうので、実績を示すことが重要だ。
- ・花巻の文化を語るうえで、賢治、萬、新渡戸を3本柱に据えて、確たる認識を打ち出していったほうがよい。

【質問・菊池房江委員】

- ・空調機の更新という説明があったが、もう少し詳しく説明してほしい。

【回答・平澤主任主査】

- ・空調機などの設備は開館から33年がたつが、今まで更新しておらず、何とか使っている状況である。一般的には15～20年で更新といわれており、結構な金がかかるので、きちんと調べて予算要求していきたい。

【意見・菊池委員】

- ・どの施設でも設備の維持管理は大事なことであり、市でもしっかり予算化してほしいし、改修計画にもはっきり載せてほしい。

【意見・菅沼緑委員】

- ・再来年（29年度）計画しているという「萬展」、今から楽しみである。今までよい企画展を実施してきたと評価しており、一層期待している。

【意見・小笠原卓雄委員】

- ・27年度の展覧会はいずれも見応えがあった。特に、棟方・萬展は展示が工夫されておりよかったと思う。
- ・増改築など改修については、美術館のあり方としてこの場所でよいのかをふくめ、市民に広く呼び掛けて話し合う機会を作り、機運を盛り上げる必要があるのではないか。
- ・この場所は、環境は良いが館も敷地も狭く、こうした施設に必要な会議室や研修室などもない。

【意見・紺野浩一委員】

- ・27年度の企画展は、萬とその周辺に集中していてよかった。
- ・美術連絡協議会の奨励賞受賞は喜ばしいことである。棟方・萬展は、展示はもちろん関連事業も楽しくよかった。
- ・多和展は、固い鉄が柔らかく表現されており素晴らしいと感じた。また、展示スペースをうまく利用した展示であり工夫の跡が見られた。
- ・施設的には、美術館が所蔵する資料を公開したり、入館者が資料や図書を見たり調べたりできるスペースが必要と考えており、増改築を期待している。
- ・美術館職員が減少しており、増員してほしい。

【意見・門馬優子委員】

- ・27年度の展覧会は見応えがあった。他の美術館に比べ、萬美術館らしい展覧会であり、今後も頑張って萬らしい展覧会を企画してほしい。
- ・教育普及事業については、なじみが深まっていないのが悩みではないか。児童の写生会にしても、図書館ともっと連携を深めればよいのではないか。

《集約・平野会長》

- ・他に質問、意見等ないか委員に回り、以上で報告第1号に対する審議を終了する。

II 諮問事項

《諮問》

- ・審議に先立ち中村館長が諮問書を読み上げ、平野会長に諮問書をしてわたした。

【平野会長】

諮問第1号平成28年度萬鉄五郎記念美術館運営計画を議題とし、事務局の説明を求めた。

《説明》

資料13ページ第1基本方針及び第2の1展覧会事業について平澤主任主査、14ページ教育普及事業から最後まで伊藤主査が説明。

《質疑応答》

【平野会長】 平成28年度の運営計画について、各委員から質問、意見を求める。

【意見要望・紺野委員】

- ・28年度の企画展は、萬ファン向けの展覧会、一般向けの展覧会、さらに地元美術家の展覧会と工夫されていて良い企画である。
- ・特に写真家内村皓一展は、内村は、写真だけではなく、陶芸や茶道にも造詣の深い方であり、また昔指導を受けたこともあり大いに期待している。
- ・展覧会の充実にも施設改修にも専念できるような職員配置としてほしいし、現場からも声を大にしていってほしい。

【意見・小笠原卓雄委員】

- ・28年度の企画展は、バランスが取れていて期待している。
- ・美術館の整備については、市の方針が見えてこないのが不安がある。
- ・花巻でも中心部が過疎化しており、中心部に文化施設がないと空洞化していく。広い視野に立って美術館のあり方を考えてほしい。

【感想・菅沼委員】

- ・天窗からの雨漏りが修繕されてよかった。安心して展覧会が開催できると思う。

【意見要望・菊池委員】

- ・いろいろな角度から萬を読み解こうとする企画は、広く興味・関心を持ってもらえ、新しい萬ファン・美術ファンの拡大に期待が持てる。
- ・みつはしちかく展は、親子で楽しめる企画である。小学校・中学校が近くでもあり期待できる。
- ・絵本展など過去にやった展覧会では、市内外から多くの集客実績があるが、親子、家族で楽し

める企画は萬美術館の良い特徴といえる。

- ・こうした企画はずっとやっているようだが、他にはない大事な要素だと思う。子供たちの美術への関心を広めるとともに、感性を養う大切な機会だと思う。
- ・展覧会のポスターをもう少し増やして、市内各所に貼ってほしい。石鳥谷の場合だと、プラットとか酒蔵交流館とかにも貼ってほしい。

【意見要望・杉本委員】

- ・萬鉄五郎だけで入館者を増やすのは難しいと思うが、美術館で収蔵している萬作品は、常に展示していつでも見られるようにしてほしいと思う。
- ・そのためには、常設展示と企画展示を同時にできる広い施設、展示室の確保が望ましい。
- ・現状は、十分な企画展示スペースが取れないことから、企画展覧会の際、2階の常設展示室が企画展示と常設展示が半々になり、鑑賞する側としては気になる。
- ・自分の考えとしては、今の美術館は全館常設展示専用館とし、近くに広い別館を立てて企画展示館とするのがよいと思う。
- ・盛岡では、マリオスで1週間ぐらい収蔵品展をやるが、(盛岡市としては中心部ではないので)遠いのであまり人がいかない。

【意見要望・門馬委員】

- ・遠くから展示を見に来た人が「萬の作品はこのくらいしかないのか」という声を聴く。非常にづらい。別館を立てるなりしてもっと萬作品をたくさん展示できるようにしてほしい。
- ・ハイビジョンソフトの出前映写会は利用が少ない。図書館で実施している映画会に入れてもらってはどうか。
- ・図書館と情報交換・連携を密にして、美術館の企画展覧会と図書館の事業企画をうまく連動させる取り組みに努めてほしい。

【市の現状・今後の方向性 市川課長】

- ・学校との連携やPRのあり方については他の施設でも同様の指摘があり、工夫する必要がある。
- ・市として、萬美術館を廃止しようという考えは全くない。盛岡市には美術館がないが、花巻市には萬美術館があり、自慢の美術館と思うし、これまでも充実した展覧会を継続してきており、

他市、他美術館から注目もされている。

- ・ 萬美術館を増改築するというのはなかなか進まない。現状は、市全体の施設、道路も含めて計画を立てなければ進まない状況である。
- ・ 東和地域でも、コミュニティセンターの閉館はほぼ決まっており、代わりの施設が必要と思うが新築するのかどうかは決まっておらず今後の課題。
- ・ 以前から懸案の花巻図書館の整備も延期となっている。
- ・ 現状では花巻総合病院の移転が最優先課題となっているほか、中心市街地の核ともいえるマルカンの存廃も重要な課題である。
- ・ こうして喫緊の課題を含め、将来的なハード整備をどう進めるか、ここ2、3年で全体計画を策定する予定である。
- ・ 萬美術館の増改築についても、この場所は狭いということ、この場所でよいのかということを含めて、市民のいろいろな意見を聞きながら進めていきたい。

《意見集約・平野会長》

諮問第1号の内容について、当運営委員会は原案を可とする意見とすることに異議がないか諮り、満場で原案通り答申すること、付帯意見は後日整理して答申書に記載して、館長宛てに提出することと決定した。

4 その他

- (1)事務局から平野副館長が、逝去した五十嵐会長職務代理の後任として、門馬裕子委員をお願いしたが、その報告が遅れたことをお詫びし改めて報告。
- (2)冒頭お願いした会議結果の公開関係については、会議録のまとめができ次第、委員各位に送付し確認をお願いするが、発言の要約となるので了承願いたいこと、発言の趣旨が異なる点や重要な欠落について修正をお願いするものであることを説明。
- (3)平野会長が各委員にその他の意見や要望等を求めたがなく、以上で議長職を退任する旨告げた。

5 閉会

16時28分、平野副館長が閉会を告げた。